

豊中みどりの交流会

こんな活動やっています！

花苗プロジェクト

私たちの活動拠点である「ふれあい広場 SEED(シード)」では、今年と一緒に活動している社会福祉法人豊中親和会・第2みらいの利用者の皆さんがハート形と円形の大きな花壇を作りました。今年の夏は沢山のヒマワリが夏の暑さに負けずに咲き誇っていました。今年の秋の育苗活動は、パンジー、ストック、ナデシコ等、約6000粒の種子を蒔き、会員の皆さんが管理する花壇と活動拠点のSEED(シード)、小学校、養護施設などに配付します。私たちが育てた花苗が、来春どのように花壇を飾るか想像しながら、雨にも風にも負けずに頑張っています。

花を育て、咲かせるのに興味のある方、私たちと一緒に活動してみませんか？

地域緑 Book プロジェクト

私たちのプロジェクトでは、みどりの活動をされている団体に体験参加して、地域緑 Book を作成しています。今年8月には、千里緑地で活動する「島熊山の雑木林を守る会」の活動に参加し、緑丘配水場にあるビオトープ池の除草と水生生物の調査・観察を行いました。「私たちの活動取材してほしい」また「活動を多くの方々に紹介したい」とお考えの団体の皆さん、お知らせください。

みなさんのご参加
待っています！

みどりの学習プロジェクト

みどりに関しては広く学ぶ視点から、ヒント集の作成、見学会の実施などを行っています。より皆様にみどりに関して学んでいただけるよう取り組んでいきますので、たくさんのご参加お待ちしております。

みどりのカーテンプロジェクト

みどりのカーテンづくりを始めて5年目を迎え参加校も増え、小学校34校(2455人)中学校、幼稚園、保育所、障害者施設等35施設のみなさんに参加していただきました。

今年は種から植え付けを希望する学校も多く、J:COMさんよりたくさんの種をいただき、種まき指導を実施しました(5校・539人)。

今年度の特徴は、児童が植え付け完了後苗の様子を写真したり、植え付け指導で育て方を説明していたら、全児童が持参したメモ用紙に指導内容を記入し感想文を手紙としていただきました。

また学年で環境問題として、みどりのカーテンづくりの意義について学習した内容の感想をいただきました。



豊中みどりだよりは、みんなで、どんどん、りょっか(緑化)しよう!という意味を込めて、豊中市でみどり活動を進められている方に向けて発信するニュースです。

nga

Toyonaka Green Action

特集 みどりのカーテン



そだてよう みどりと人の“わ” みどりのフォーラム2012

日時：11月25日(日) 11:00~16:30

場所：豊中駅前エトレ5F「すてっぷホール」ほか

基調講演：くろび 克明さん

(箕面公園昆虫館館長)

事例発表：蛭池小学校のみなさん、豊中みどりの交流会
環境部公園みどり推進課

体験コーナー：竹細工体験、ペットボトル工作体験など

❖花苗のプレゼントあります❖



【編集後記】

今年7~9月の三ヶ月間、岩手県大槌町に用地交渉の業務として復興支援に行ってきました。初めての東北・岩手への派遣で不安と期待が入り混じった勤務となりました。

関西ではあまり報道されませんが、まだ津波で流されたままで、一軒の家も建っていません。津波・火災で家族・家を失った町民と話をし、私なりに復興に全力を尽くしました。短期間で少しでも力になったのかなあと少し悔いがありますが、後ろ髪をひかれながらの帰阪となりました。

仮設住宅でゴーヤのみどりのカーテンづくりをしました。近所の住民ともゴーヤを通じて交流し、たくさんの友人ができました。まだまだ復興への道のりは遠いです。少しでも皆さんの力をお願いします。

(K. H)

かたつむりのひとりごと

今年の春に植物生理学の常識を疑うような新しい体験をしました。

永年お店の前で親しまれていた観音竹を処分するという話を聞き、可哀そうだと譲り受けました。新しい鉢に植え替えようと株を抜いて驚きました。鉢際から下を向いて芽が伸びている所や、根が上を向いて伸びている所がありました。私達が植物生理学で学んだ、芽は向光性、根は背光性という常識を覆す現象が見られました。まず下を向いている芽をはずした後、数株に分け植え込みました。下を向いて伸びている芽は、なんとか根を下に向けて寄せ植えしました。

現在、植え込み後の経過を観察していますが、異常なく生育しています。いずれにしても、芽の向光性、根の背光性に反した生育状態が実在したことに驚異を覚えました。



特集：みどりのカーテン

第2回みどりのつどい（平成24年9月2日（日）10:00～12:00 花とみどりの相談所）にて、話題提供として、桜塚小学校と原田保育所の先生から『みどりのカーテンづくりの取り組み』について、また、豊中駅前まちづくり推進協議会（以下、協議会）環境部会の小林さんから『協議会の活動事例』について発表していただきました。

今年度、みどりのカーテンプロジェクトには小学校34校（2455人）、35施設が参加し、桜塚小学校をはじめ、種からゴーヤを育て、カーテンづくりに取り組んでいる学校も増えてきている。

桜塚小学校の取り組み

桜塚小学校の4年生は3クラス、96人在籍しており、理科の学習の一環として、ゴーヤを用いたみどりのカーテンづくりに取り組むこととなった。子ども達は、観察したゴーヤの種の形や模様に興味をもった様子だった。5月10日に種まきした後は、ゴーヤの成長を毎日のように観察しては嬉しそうに報告してくれた。6月4日に交流会のメンバーの指導のもと植え付けを行ったが、誰の苗をみどりのカーテンに利用するか、子ども達の間でじゃんけん大会が行われ、決まった子は「自分の苗が代表に選ばれた」と大喜びだった。6月末には花が咲き、観察を続ける中で、ゴーヤのつるの太さや成長の速さ、生命力に驚いたようだった。また、毎日の水やりにも責任をもって取り組む姿に感心させられた。ただ、夏休み中の水やりや観察については、学校のプールに来た一部の子ども達しかできなかったのが残念に思う。



今後、大きく育ったカーテンの表と裏の温度差を記録し、みどりのカーテンの役割について学習を進めたい。また、収穫したゴーヤを使ってジャムやチャンドルを作るのを楽しみにしている。最後に、この数ヶ月間の取り組みについてまとめ、来年につなげていきたいと考えている。

原田保育所の取り組み

原田保育所には生後2ヶ月から就学前の子ども達149人が在籍しており、小学生ほど細かな作業はできないが、食育の観点から、みどりのカーテンづくりに取り組んだ。水やりは主に保育所の職員が行ったが、子ども達は、緑色の葉、黄色の花、緑色と白色の実、熟した黄色の実といった色の変化を目の当たりにして、植物の成長を肌で感じられたようだ。また、菜園活動にとっても興味を示していて、ゴーヤの他にもトマトやきゅうり、ピーマンなどを楽しみながら育てている。今年は昨年よりも収穫したゴーヤの数が少なかったが、8月末には収穫したゴーヤを使った料理を子ども達と一緒に味わった。食品には、甘い・すっぱい・辛い・苦いといった様々な味があることを学べたようで、ゴーヤの成長を五感で感じられたことは非常に良い経験になったと思う。また、保育所の職員にとっても、みどりのカーテンづくりを通して、地域の方と交流できたことはありがたい。



豊中駅前まちづくり推進協議会の活動

協議会では、地域の問題点を抽出し、住民自ら改善策を考え、解決につなげていく活動を通して、住みよいまちづくりをめざしている。豊中駅前には、商店街にバスや車が往来するにもかかわらず、路上駐車や路上駐輪が多く、歩道が狭いという悪い環境だったことから、「ゆっくり楽しく歩き回れるまちをめざす」改善運動が進められてきた。

環境部会は3つの専門部会のうちの1つで、1995年、リサイクルをテーマに活動を開始した。市主催のごみ減量講座に参加したことをきっかけとして、牛乳パックからハガキを作ったり、不要になった本を集めて『リサイクル文庫』を開設したり、地域子ども達と一緒にフリーマーケットをしたりと、様々な方法でリサイクルを実践してきた。また、リサイクルの一環として、生ごみの堆肥化を進めていたので、それを利用して近所の空地にバックヤード兼花壇をつくることとなった。“あすなろガーデン”と名付けたこの場所は当初、雑草だらけで花壇にするには大変な苦労があった。

現在は、豊中駅前一番街商店会の入口に設けた“こもればガーデン”を拠点に、周辺の銀行のプランターや花壇に花を植えている。この活動と並行して、大阪府主催の「花いっぱいプロジェクト」に参加しており、



▲豊中一番街こもればガーデン

多くの人とのつながりが増えて、育苗の場所や道具を提供してもらえるようになった。地域、小・中学校、地域のボランティア団体が協働で花を植えることで、学校と地域の関係がより身近になったと実感している。また、大池小学校前の道路がアドプト・ロードとして認定され、歩道に設置した木製プランターに植えた花を地域住民と学校が共に守り育てていくこととなった。このほか、毎年10月下旬には丹波へ黒豆刈りに出かけ、メンバーや地域住民との交流を図っている。

今後も、花を植えて地域を飾る活動を進めながら、自分自身の問題を地域の問題として捉え、まちを変えていこうという意味を見失わないようにしていきたい。花を植えることで完結させずに、花を通して、まちの人との交流や関係づくりができれば幸せに思う。

みどりのカーテンツアーを開催しました！

日時：平成24年7月24日（火）13:30～17:00

見学先：大池小学校・蛭池小学校・北緑丘小学校・野畑小学校

参加者：14名

晴天に恵まれた中、市内の各小学校のみどりのカーテンの生育状況を見学しました。みどりのカーテンプロジェクトで育てたゴーヤの苗がどこまで成長しているか、参加者の皆さんは興味深そうに観察されていました。

